

Ⅱ 調査結果の概要

1 人口の動向

(1) 総人口

本県の人口は、平成 26 年中に 11,804 人減少し、平成 27 年 1 月 1 日現在で 2,919,202 人となった。人口増減率は $\Delta 0.40\%$ となっている。

人口増減の内訳は、自然動態で 8,014 人の減少（増減率 $\Delta 0.27\%$ ）、社会動態で 3,790 人の減少（同 $\Delta 0.13\%$ ）である。

男女別人口の内訳をみると、男が 5,829 人の減少（増減率 $\Delta 0.40\%$ ）、女が 5,975 人の減少（同 $\Delta 0.41\%$ ）であり、この結果、平成 27 年 1 月 1 日現在で男 1,455,580 人、女 1,463,622 人となっている。（統計表第 4 表）

(2) 性比及び人口密度

平成 26 年 10 月 1 日現在の性比は 99.4 であり、前年同月と変わらなかった。

また、平成 26 年 10 月 1 日現在の人口密度は 479.1 人/ km^2 であり、前年同月を 2.1 ポイント下回った。（統計表第 1 表）

(3) 地域別人口

市部及び郡部別にみた平成 26 年中の人口増減は、市部が 9,438 人の減少（増減率 $\Delta 0.36\%$ ）、郡部が 2,366 人の減少（同 $\Delta 0.86\%$ ）であった。この結果、平成 27 年 1 月 1 日現在の人口は市部が 2,646,733 人、郡部が 272,469 人となっており、県人口に占める割合は市部が 90.7%、郡部が 9.3%となっている。

次に、県内 5 地域別の人口増減をみると、県北地域が 5,172 人の減少（増減率 $\Delta 0.83\%$ ）、県央地域が 1,806 人の減少（同 $\Delta 0.38\%$ ）、鹿行地域が 1,319 人の減少（同 $\Delta 0.48\%$ ）、県南地域が 712 人の増加（同 0.07%）、県西地域が 4,219 人の減少（同 $\Delta 0.75\%$ ）であった。この結果、各地域の県人口に占める割合は平成 27 年 1 月 1 日現在で県北地域が 21.3%（620,607 人）、県央地域が 16.1%（469,826 人）、鹿行地域が 9.4%（273,239 人）、県南地域が 34.2%（998,044 人）、県西地域が 19.1%（557,486 人）となっている。（統計表第 4 表）

(4) 市町村別人口

市町村別の人口増減をみると、8 市町で増加、36 市町村で減少であった。最も増加数の多い市町村はつくば市（1,769 人）であり、以下、つくばみらい市（1,106 人）、守谷市（548 人）、牛久市（411 人）、阿見町（315 人）の順となっている。

一方、最も減少数の多い市町村は日立市（ $\Delta 2,355$ 人）であり、以下、常陸太田市（ $\Delta 810$ 人）、筑西市（ $\Delta 774$ 人）、桜川市（ $\Delta 676$ 人）、石岡市（ $\Delta 648$ 人）の順となっている。

人口増減率をみると、最も増加率の高い市町村はつくばみらい市（2.37%）であり、以下、守谷市（0.86%）、つくば市（0.80%）、阿見町（0.66%）、牛久市（0.49%）の順となっている。

逆に最も減少率の高い市町村は天子町（ $\Delta 2.20\%$ ）であり、以下、河内町（ $\Delta 2.05\%$ ）、五霞町（ $\Delta 1.62\%$ ）、桜川市（ $\Delta 1.55\%$ ）、城里町（ $\Delta 1.53\%$ ）の順となっている。（表 - 1）

表-1 市町村別人口増減数と人口増減率順位(平成 26 年)

人口増減数				人口増減率					
順位	上位10市町村		下位10市町村		順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減数	市町村名	人口増減数		市町村名	人口増減率(%)	市町村名	人口増減率(%)
1	つくば市	1,769	日立市	△ 2,355	1	つくばみらい市	2.37	大子町	△ 2.20
2	つくばみらい市	1,106	常陸太田市	△ 810	2	守谷市	0.86	河内町	△ 2.05
3	守谷市	548	筑西市	△ 774	3	つくば市	0.80	五霞町	△ 1.62
4	牛久市	411	桜川市	△ 676	4	阿見町	0.66	桜川市	△ 1.55
5	阿見町	315	石岡市	△ 648	5	牛久市	0.49	城里町	△ 1.53
6	ひたちなか市	65	稲敷市	△ 626	6	鹿嶋市	0.08	常陸太田市	△ 1.51
7	神栖市	59	銚田市	△ 620	7	神栖市	0.06	稲敷市	△ 1.41
8	鹿嶋市	52	土浦市	△ 605	8	ひたちなか市	0.04	高萩市	△ 1.32
9	水戸市	△ 7	古河市	△ 601	9	水戸市	△ 0.00	八千代町	△ 1.32
10	東海村	△ 49	小美玉市	△ 552	10	東海村	△ 0.13	大洗町	△ 1.30

また、市町村の人口規模をみると、平成 27 年 1 月 1 日現在で 20 万人以上が 2 市（水戸市、つくば市）10 万人以上 20 万人未満が 6 市（日立市、ひたちなか市、土浦市、古河市、取手市、筑西市）である。以上 8 市の合計は 1,329,125 人であり、県人口の約 46%を占めている。郡部では 3 万人以上 5 万人未満の町村が 3 町村、2 万人以上 3 万人未満の町村が 3 町、1 万人以上 2 万人未満の町村が 4 町村、0.5 万以上 1 万未満が 2 町となっている。（表 - 2）

表-2 人口規模別市町村数の推移(平成 4 年～平成 27 年)

各年1月1日現在 人口（人）	平成	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	(年)																								
総 数		88	87	87	86	85	85	85	85	85	85	84	83	83	75	50	44	44	44	44	44	44	44	44	44
市 計		20	20	20	19	20	20	20	20	20	20	21	22	22	23	30	32	32	32	32	32	32	32	32	32
20万以上		2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
10万以上20万未満		3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7.5万以上10万未満		1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5
5万以上7.5万未満		7	7	7	6	8	8	8	7	7	7	7	7	7	8	8	9	9	9	9	9	9	8	8	8
3万以上5万未満		7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	9	10	10	10	10	10	10	11	10	9
3万未満		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2
郡 計		68	67	67	67	65	65	65	65	65	65	63	61	61	52	20	12	12	12	12	12	12	12	12	12
5万以上		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3万以上5万未満		12	13	13	13	12	12	12	12	12	11	11	10	10	10	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2万以上3万未満		16	15	15	15	16	15	15	15	15	14	12	11	11	10	6	4	4	4	4	4	4	3	3	3
1万以上2万未満		24	23	24	20	22	23	23	23	23	24	25	25	25	22	7	4	4	4	4	4	4	4	4	4
0.5万以上1万未満		13	12	11	14	10	10	10	10	10	10	9	9	9	8	3	1	1	1	1	1	1	2	2	2
0.5万未満		3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2 自然動態

(1) 自然増減

平成 26 年中の自然動態は、出生 22,338 人、死亡 30,352 人で 8,014 人の減少となった。自然増減率は△0.27%となっている。

5 地域別の自然増減率をみると、県南地域が△0.09%と最も高く、以下、県央地域△0.27%、鹿行地域△0.32%、県北地域△0.40%、県西地域△0.44%の順となっている。

市町村別の自然増減率については、守谷市が 0.39%と最も高く、以下、つくば市 (0.37%)、つくばみらい市 (0.27%)、牛久市 (0.11%)、神栖市 (0.06%) の順となっている。(表 - 3、統計表第 6 表)

(2) 出生

平成 26 年中の出生者数は 22,338 人 (男 11,442 人、女 10,896 人)、出生率は 7.6‰であった。

5 地域別の出生率をみると、県南地域が 8.2‰と高く、以下、鹿行地域(7.8‰)、県央地域(7.7‰)、県西地域 (7.2‰)、県北地域 (7.0‰) の順となっている。

市町村別の出生率をみると、つくばみらい市が 11.1‰と最も高く、以下、つくば市 (10.5‰)、守谷市 (10.2‰)、神栖市 (9.2‰)、東海村 (8.9‰) の順となっている。(表 - 3)

(3) 死亡

平成 26 年中の死亡者数は 30,352 人 (男 15,896 人、女 14,456 人)、死亡率は 10.4‰であった。

5 地域別の死亡率をみると、県西地域が 11.5‰と高く、以下、県北地域と鹿行地域 (11.0‰)、県央地域 (10.4‰)、県南地域 (9.1‰) の順となっている。

市町村別の死亡率をみると、大子町が 18.0‰と最も高く、以下、大洗町 (15.4‰)、河内町 (15.4‰)、常陸太田市(15.0‰)、五霞町 (14.7‰) の順となっている。(表 - 3)

表-3 自然増減、出生率及び死亡率順位(平成 26 年)

(自然増減率)				
順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	自然増減率(%)	市町村名	自然増減率(%)
1	守谷市	0.39	大子町	△ 1.42
2	つくば市	0.37	河内町	△ 1.21
3	つくばみらい市	0.27	大洗町	△ 1.03
4	牛久市	0.11	五霞町	△ 1.02
5	神栖市	0.06	常陸太田市	△ 1.02

(出生率)				
順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	出生率(‰)	市町村名	出生率(‰)
1	つくばみらい市	11.1	河内町	3.3
2	つくば市	10.5	大子町	3.8
3	守谷市	10.2	利根町	3.8
4	神栖市	9.2	城里町	4.0
5	東海村	8.9	五霞町	4.5

(死亡率)				
順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	死亡率(‰)	市町村名	死亡率(‰)
1	大子町	18.0	守谷市	6.3
2	大洗町	15.4	つくば市	6.8
3	河内町	15.4	牛久市	7.3
4	常陸太田市	15.0	ひたちなか市	8.1
5	五霞町	14.7	つくばみらい市	8.4

3 社会動態

(1) 社会増減

平成 26 年中の社会動態は、転入者数 111,407 人、転出者数 115,197 人で 3,790 人の転出超過となった。社会増減率は $\Delta 0.13\%$ となっている。

市部及び郡部別にみると、市部で 2,945 人の転出超過、郡部で 845 人の転出超過となった。5 地域別では、県北地域が 2,664 人の転出超過、県央地域が 532 人の転出超過、鹿行地域が 441 人の転出超過、県南地域が 1,617 人の転入超過、県西地域が 1,770 人の転出超過となった。

市町村別では、転入超過が 10 市 1 町、転出超過が 22 市 11 町村となっている。転入超過の割合が最も高い市町村はつくばみらい市（社会増減率 2.09%）であり、以下、阿見町（同 0.78%）、守谷市（同 0.47%）、つくば市（同 0.43%）、牛久市（同 0.38%）の順となっている。

逆に転出超過の割合が最も高い市町村は日立市（社会増減率 $\Delta 0.86\%$ ）であり、以下、河内町（同 $\Delta 0.84\%$ ）、境町（同 $\Delta 0.83\%$ ）、美浦村（同 $\Delta 0.80\%$ ）、大子町（同 $\Delta 0.79\%$ ）の順となっている。（表 - 4，統計表第 8 表）

(2) 移動数

平成 26 年中の移動数は 226,604 人、移動率は 7.73%であった。

また、県内市町村間の移動状況をみると、転入者数 48,305 人、転出者数 48,459 人であった。

一方、県外間の移動状況をみると、転入者数 60,758 人、転出者数 61,583 人であった。

市町村別の移動率をみると、つくば市が 12.57%と最も高く、以下、美浦村 (10.84%)、取手市 (10.15%)、守谷市 (9.73%)、つくばみらい市 (9.60%) の順となっている。(表 - 4、統計表第 8 表)

表-4 社会増減率及び移動率順位(平成 26 年)

社会増減率				移動率					
順位	上位5市町村		下位5市町村		順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	社会増減率(%)	市町村名	社会増減率(%)		市町村名	移動率(%)	市町村名	移動率(%)
1	つくばみらい市	2.09	日立市	△ 0.86	1	つくば市	12.57	大子町	3.65
2	阿見町	0.78	河内町	△ 0.84	2	美浦村	10.84	桜川市	4.46
3	守谷市	0.47	境町	△ 0.83	3	取手市	10.15	常陸太田市	4.79
4	つくば市	0.43	美浦村	△ 0.80	4	守谷市	9.73	城里町	4.87
5	牛久市	0.38	大子町	△ 0.79	5	つくばみらい市	9.60	北茨城市	4.89

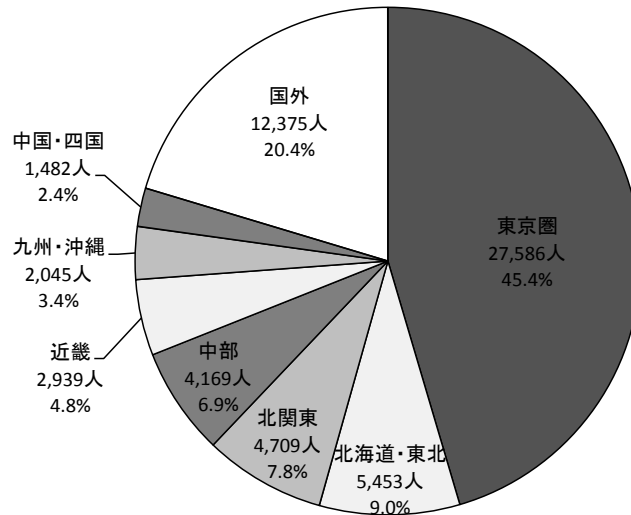
(3) 地域(都道府県)間移動

① 県外からの転入

平成 26 年中の県外からの転入者 60,758 人について、従前の住所地を全国地域区分別にみると、東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）が 27,586 人と最も多く、次いで北海道・東北地方 5,453 人、北関東 4,709 人、中部地方 4,169 人などとなっている。また、国外は 12,375 人となっている。（図 - 5，統計表第 9 表）

都道府県別にみると、東京都が 9,508 人と最も多く、次いで千葉県 8,367 人、埼玉県 5,285 人、神奈川県 4,426 人、栃木県 3,627 人、福島県 1,764 人などとなっている。（統計表第 9 表）

図 5 地域区分別県外転入者数(平成 26 年)

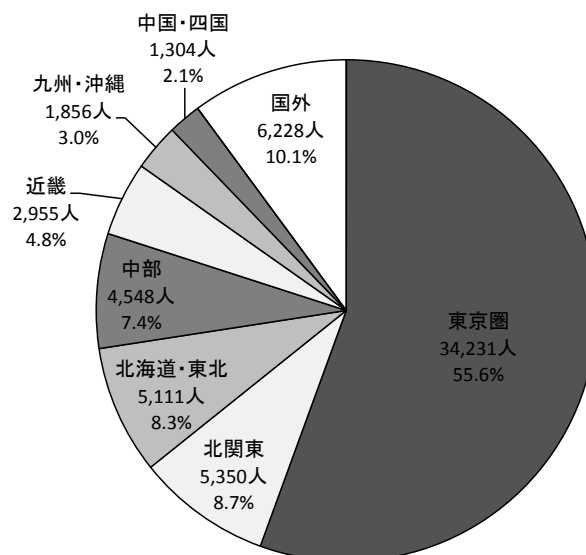


② 県外への転出

平成 26 年中の県外への転出者 61,583 人について、転出先の住所地を全国地域区分別にみると、東京圏が 34,231 人と最も多く、次いで北関東 5,350 人、北海道・東北地方 5,111 人、中部地方 4,548 人などとなっている。また、国外は 6,228 人となっている。（図 - 6，統計表第 10 表）

都道府県別にみると、東京都が 12,972 人と最も多く、次いで千葉県 9,589 人、埼玉県 6,462 人、神奈川県 5,208 人、栃木県 3,931 人、福島県 1,611 人などとなっている。（統計表第 10 表）

図 6 地域区分別県外転出者数(平成 26 年)



③ 転入超過

平成 26 年中の本県の都道府県別転入超過数（県外転入者数から県外転出者数を差し引いた数）をみると、本県への転入超過は青森県（162 人）、福島県（153 人）、福岡県（114 人）など 24 府県で、本県からの転出超過は東京都（3,464 人）、千葉県（1,222 人）、埼玉県（1,177 人）など 21 都府県となっている。（表 - 5，統計表第 13 表）

また、岩手県、宮城県、福島県の東北 3 県からの転入者数についてみると、震災のあった平成 23 年の福島県からの転入者のみ、前年比 788 人増の 2,821 人となっているが、他の 2 県を含め、平成 26 年の転入者数は震災前と比較しても減少している。（表 - 6）

表 - 5 本県と他都道府県との転入超過数順位（平成 25 年、26 年）

【平成25年】					【平成26年】				
順位	上位5都道府県		下位5都道府県		順位	上位5都道府県		下位5都道府県	
	都道府県名	転入超過数(人)	都道府県名	転入超過数(人)		都道府県名	転入超過数(人)	都道府県名	転入超過数(人)
1	福島県	305	東京都	△ 3,283	1	青森県	162	東京都	△ 3,464
2	兵庫県	152	千葉県	△ 1,404	2	福島県	153	千葉県	△ 1,222
3	青森県	132	埼玉県	△ 996	3	福岡県	114	埼玉県	△ 1,177
4	北海道	80	神奈川県	△ 791	4	大阪府	96	神奈川県	△ 782
5	岩手県	70	栃木県	△ 505	5	山形県	95	群馬県	△ 337

表 - 6 東北 3 県からの転入者数

	単位：人		
	岩手県	宮城県	福島県
平成21年	490	1,179	2,179
22年	425	1,165	2,033
23年	454	1,160	2,821
24年	430	1,044	2,209
25年	404	1,011	1,926
26年	386	904	1,764

(4) 地域(県内及び近隣都県)間移動

平成 26 年中の地域間移動数について、県内は 5 地域間、県外は近隣都県別でみると、県内・県外いずれにおいても県南地域の移動数が最も多くなっている。

県内間移動をみると、県南地域では他の 4 地域に対してすべて転入超過であり、県北地域では他の 4 地域に対してすべて転出超過であった。

県外（近隣都県）間移動をみると、近隣都県への転出超過数は東京都が 3,464 人で最も多く、以下、千葉県（1,222 人）、埼玉県（1,177 人）、神奈川県（782 人）、群馬県（337 人）、栃木県（304 人）の順となっている。県外に対しての超過数を 5 地域別にみると、鹿行地域と県南地域で転入超過であり、県北地域、県央地域、県西地域で転出超過であった。（表 - 7，統計表第 13 表）

表 - 7 県内及び県外（近隣都県）別地域間移動数及び超過数（平成 26 年）

地 域	茨城県		県北地域		県央地域		鹿行地域		県南地域		県西地域			
	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）		
全体	転入計	109,063	100.0	17,057	100.0	17,417	100.0	9,505	100.0	47,251	100.0	17,833	100.0	
	転出計	110,042	100.0	19,600	100.0	17,522	100.0	9,150	100.0	44,755	100.0	19,015	100.0	
	超過数	△ 979	-	△ 2,543	-	△ 105	-	355	-	2,496	-	△ 1,182	-	
県内	転入者数	県内計	48,305	44.3	9,649	56.6	9,097	52.2	3,410	35.9	19,407	41.1	6,742	37.8
		県北地域	10,711	9.8	5,681	33.3	3,157	18.1	279	2.9	1,278	2.7	316	1.8
		県央地域	9,044	8.3	2,565	15.0	2,949	16.9	590	6.2	2,285	4.8	655	3.7
		鹿行地域	3,711	3.4	262	1.5	695	4.0	1,825	19.2	751	1.6	178	1.0
		県南地域	17,677	16.2	888	5.2	1,756	10.1	596	6.3	12,707	26.9	1,730	9.7
		県西地域	7,162	6.6	253	1.5	540	3.1	120	1.3	2,386	5.0	3,863	21.7
	転出者数	県内計	48,459	44.0	10,774	55.0	9,039	51.6	3,706	40.5	17,756	39.7	7,184	37.8
		県北地域	9,698	8.8	5,701	29.1	2,584	14.7	262	2.9	896	2.0	255	1.3
		県央地域	9,126	8.3	3,176	16.2	2,948	16.8	691	7.6	1,772	4.0	539	2.8
		鹿行地域	3,428	3.1	284	1.4	593	3.4	1,823	19.9	607	1.4	121	0.6
		県南地域	19,429	17.7	1,295	6.6	2,261	12.9	750	8.2	12,734	28.5	2,389	12.6
		県西地域	6,778	6.2	318	1.6	653	3.7	180	2.0	1,747	3.9	3,880	20.4
	超過数	県内計	△ 154	*	△ 1,125	*	58	*	△ 296	*	1,651	*	△ 442	*
		県北地域	1,013	*	△ 20	*	573	*	17	*	382	*	61	*
		県央地域	△ 82	*	△ 611	*	1	*	△ 101	*	513	*	116	*
		鹿行地域	283	*	△ 22	*	102	*	2	*	144	*	57	*
		県南地域	△ 1,752	*	△ 407	*	△ 505	*	△ 154	*	△ 27	*	△ 659	*
		県西地域	384	*	△ 65	*	△ 113	*	△ 60	*	639	*	△ 17	*
県外	転入者数	県外総数	60,758	55.7	7,408	43.4	8,320	47.8	6,095	64.1	27,844	58.9	11,091	62.2
		栃木県	3,627	3.3	372	2.2	462	2.7	175	1.8	797	1.7	1,821	10.2
		群馬県	1,082	1.0	165	1.0	185	1.1	73	0.8	376	0.8	283	1.6
		埼玉県	5,285	4.8	540	3.2	781	4.5	347	3.7	2,065	4.4	1,552	8.7
		千葉県	8,367	7.7	738	4.3	863	5.0	1,456	15.3	4,313	9.1	997	5.6
		東京都	9,508	8.7	1,289	7.6	1,517	8.7	745	7.8	4,841	10.2	1,116	6.3
		神奈川県	4,426	4.1	710	4.2	652	3.7	395	4.2	2,131	4.5	538	3.0
		その他の道府県	28,463	26.1	3,594	21.1	3,860	22.2	2,904	30.6	13,321	28.2	4,784	26.8
	転出者数	県外総数	61,583	56.0	8,826	45.0	8,483	48.4	5,444	59.5	26,999	60.3	11,831	62.2
		栃木県	3,931	3.6	427	2.2	513	2.9	138	1.5	852	1.9	2,001	10.5
		群馬県	1,419	1.3	176	0.9	223	1.3	68	0.7	441	1.0	511	2.7
		埼玉県	6,462	5.9	756	3.9	816	4.7	326	3.6	2,351	5.3	2,213	11.6
		千葉県	9,589	8.7	1,010	5.2	1,094	6.2	1,444	15.8	4,953	11.1	1,088	5.7
		東京都	12,972	11.8	1,995	10.2	2,029	11.6	997	10.9	6,129	13.7	1,822	9.6
		神奈川県	5,208	4.7	1,000	5.1	779	4.4	478	5.2	2,216	5.0	735	3.9
		その他の道府県	22,002	20.0	3,462	17.7	3,029	17.3	1,993	21.8	10,057	22.5	3,461	18.2
	超過数	県外総数	△ 825	*	△ 1,418	*	△ 163	*	651	*	845	*	△ 740	*
		栃木県	△ 304	*	△ 55	*	△ 51	*	37	*	△ 55	*	△ 180	*
群馬県		△ 337	*	△ 11	*	△ 38	*	5	*	△ 65	*	△ 228	*	
埼玉県		△ 1,177	*	△ 216	*	△ 35	*	21	*	△ 286	*	△ 661	*	
千葉県		△ 1,222	*	△ 272	*	△ 231	*	12	*	△ 640	*	△ 91	*	
東京都		△ 3,464	*	△ 706	*	△ 512	*	△ 252	*	△ 1,288	*	△ 706	*	
神奈川県		△ 782	*	△ 290	*	△ 127	*	△ 83	*	△ 85	*	△ 197	*	
その他の道府県		6,461	*	132	*	831	*	911	*	3,264	*	1,323	*	

注1) 転入は表側から表頭への、また転出は表頭から表側への移動者数である。

2) 県内の転入者数及び転出者数は、各市町村ごとの転入者数及び転出者数を積み上げ、それを5地域別及び県全体で表したものである。

3) 超過数とは、以下の内容を意味するものである。

- ・表頭から表側に対しては、正の数は転入超過を表し、負の数は転出超過を表すものである。
- ・表側から表頭に対しては、正の数は転出超過を表し、負の数は転入超過を表すものである。

4) その他の道府県には国外を含む。

5) その他の移動者（従前の住所地なし、転出先不明等）数は含まない。

(5) 移動の特徴

【類型】

県外移動型	平成 26 年中の(総移動者数に占める県外移動者数の割合)－(総移動者数に占める県内移動者数の割合)が 5%以上である市町村。
バランス型	平成 26 年中の(総移動者数に占める県外移動者数の割合)－(総移動者数に占める県内移動者数の割合)が±5%の範囲にある市町村。
県内移動型	平成 26 年中の(総移動者数に占める県内移動者数の割合)－(総移動者数に占める県外移動者数の割合)が 5%以上である市町村。

※「総移動者数」には「その他(転入者：従前の住所地が不明又は帰化，転出者：転出先の住所地が不明又は国籍離脱)」は含まれない。

県内の各市町村を平成 26 年中の県外移動率及び県内移動率を基に 3 類型（県外移動型、県内移動型、バランス型）に分けると、県外移動型は鹿行地域や県南地域、県西地域の県境に位置する市町村に多い傾向にあり、県内移動型は県北地域や県央地域に位置する市町村に多い傾向にある。

また、土浦市、北茨城市、ひたちなか市、潮来市、坂東市、つくばみらい市、河内町は県外移動者数と県内移動者数が概ね半々であるバランス型となっている。（図 - 7）

市町村別に県外移動率をみると、五霞町が 86.4%と最も高く、以下、古河市（82.6%）、取手市（74.7%）、神栖市（74.0%）、利根町（72.9%）の順となっている。

また、県内移動率をみると、茨城町が 75.9%と最も高く、以下、那珂市（73.5%）、城里町（71.2%）、常陸太田市（69.4%）、高萩市（66.0%）となっている。（表 - 8，統計表第 8 表）

表 - 8 社会移動における県外移動率、県内移動率順位（平成 25 年、26 年）

【平成25年】					【平成26年】				
順位	県 外		県 内		順位	県 外		県 内	
	市町村名	移動率 (%)	市町村名	移動率 (%)		市町村名	移動率 (%)	市町村名	移動率 (%)
1	五 霞 町	86.0	茨 城 町	79.0	1	五 霞 町	86.4	茨 城 町	75.9
2	古 河 市	79.4	那 珂 市	74.0	2	古 河 市	82.6	那 珂 市	73.5
3	取 手 市	73.7	城 里 町	70.9	3	取 手 市	74.7	城 里 町	71.2
4	神 栖 市	73.0	常 陸 大 宮 市	66.9	4	神 栖 市	74.0	常 陸 太 田 市	69.4
5	利 根 町	69.8	常 陸 太 田 市	65.0	5	利 根 町	72.9	高 萩 市	66.0

(6) 年齢別社会動態

平成 26 年中の県内における年齢別転入及び転出者数を 5 歳階級別にみると、20 歳～24 歳（2,000 人）、25 歳～29 歳（1,710 人）及び 30 歳～34 歳（630 人）において転出超過が多くなっている。転出超過数を各歳別にみると、23 歳が 1,199 人の転出超過（転入 4,774 人、転出 5,973 人）と最も多く、次いで 24 歳が 471 人（転入 4,187 人、転出 4,658 人）、26 歳が 459 人（転入 4,497 人、転出 4,956 人）となっている。（図 - 8，統計表第 14 表）

地域別の社会増減数を 5 歳階級別にみると、県北地域・県央地域では 20 歳～24 歳、県南地域・県西地域では 25 歳～29 歳、鹿行地域では 30 歳～34 歳の転出超過が多くなっている。（図 - 9，統計表第 14 表）

また、平成 26 年中の県外転入者数と県外転出者数を比較すると、0 歳～9 歳、30 歳～39 歳、60 歳～の各階級で転入超過となっており、10 歳～29 歳、40 歳～59 歳の各階級で転出超過となっている。（図 - 10，統計表第 13 表）

図 8 年齢(5 歳階級)別転入及び転出者数

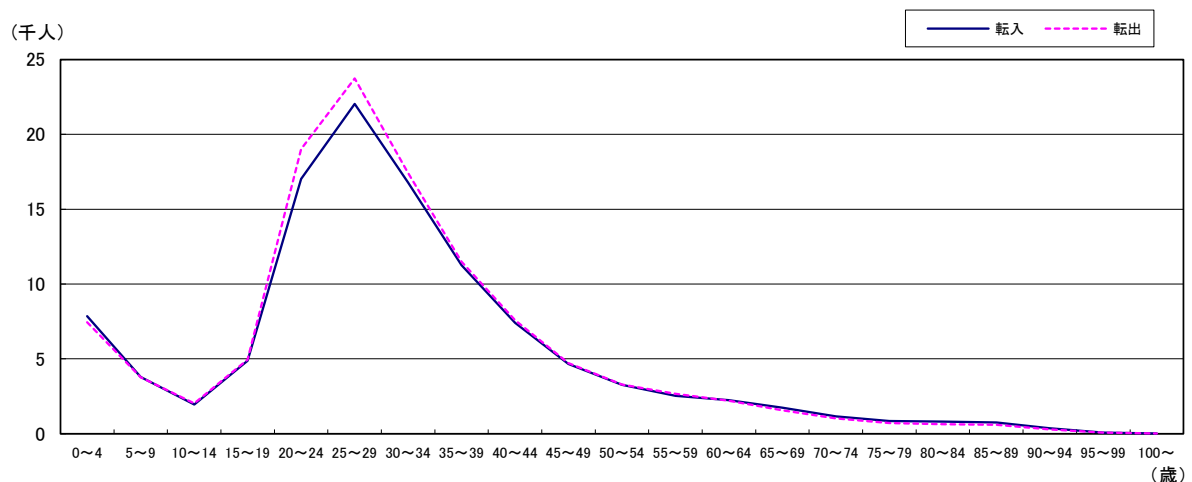


図9 地域及び年齢(5歳階級)別社会増減数

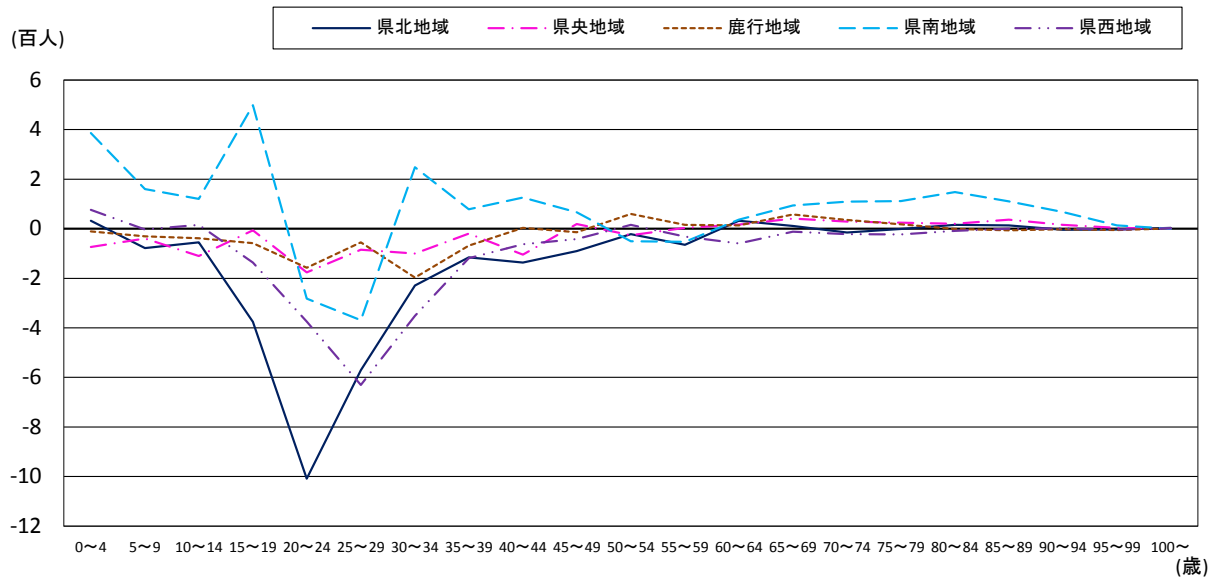
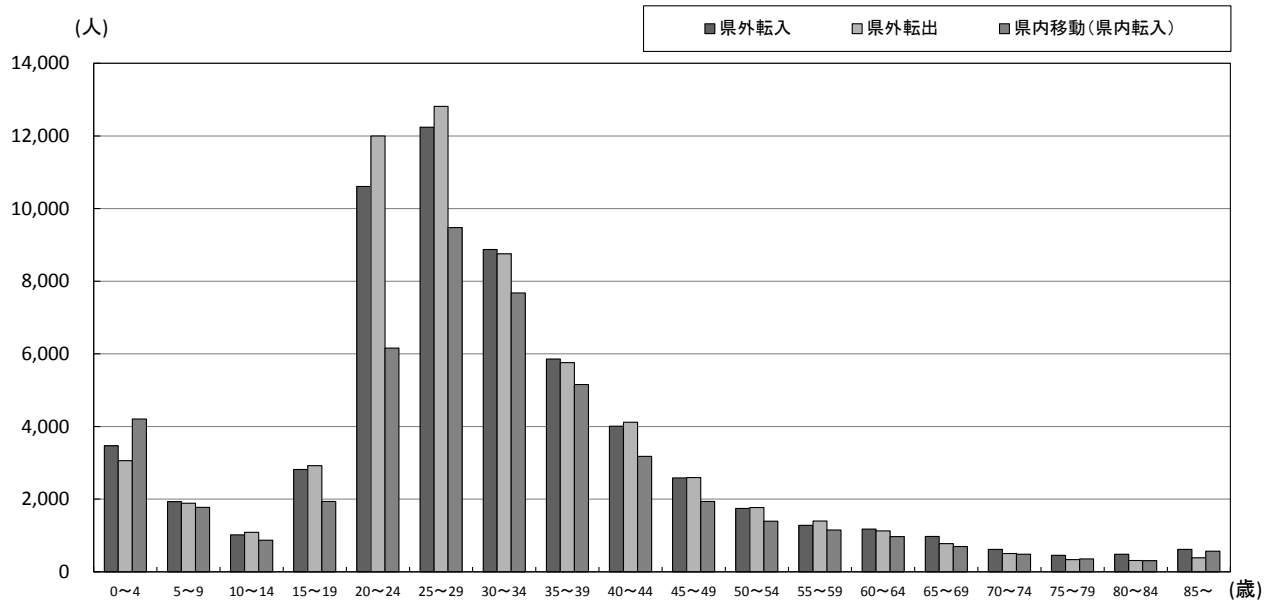


図10 年齢(5歳階級)別移動者数



4 世帯数, 1世帯あたり人員

平成27年1月1日現在の世帯数は1,128,541世帯であり、平成26年中に10,222世帯増加し、増減率は0.91%となっている。(図-11, 統計表第4表)

1世帯あたり人員については、平成26年10月1日現在2.59人となっている。(統計表第1表)

図11 人口増減率及び世帯数増減率の推移

